



埼玉県舞踊協会  
NO.21

# 埼玉県舞踊協会ニュース

## Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会  
発行者：津田 郁子  
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F  
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

### 「協会事務所も開設し順調な年度を迎えました」

会長 津田郁子  
埼玉県舞踊協会の事務所をJR浦和駅近くへ開設して2年たち、仕事も次第に軌道に乗りはじめたようです。埼玉県や市、財団などのご支援をいただき、また協会の皆様、役員・理事の先生方や、仕事を引き受けてくれたスタッフの方々など大勢のお力をより、今日に至りました。なかでも藤井公名譽会長より多大なご指導を頂き、やっと今日にたどり着いたと思います。

美術館での作品発表「レオグラファーの目」なども加わり、年間行事が目白押しで、あっという間に、年度末となりました。

埼玉県舞踊協会の特徴は、誰にでも門戸を空け、バレエと現代舞踊が渾然一体となり運営にあたり、県の舞踊基盤を大きく進展しようとしていることです。発足からすでに、39年目を迎える埼玉県のみならず、全国的に影響を与え、特に舞踊コンクールなどは各地で開催されるようになりました。

### 役員改選の年、役員改選の年を迎え二年間の理事の仕事を終えて

会長 津田郁子  
この二年、協会の事業を円滑にごなすことに追われてしまった気がしますが、しかし、結果的には、数々の新しい改革や企画が生まれ、また、各部担当の先生方の活力ある創意工夫を支えられたことに心より感謝いたします。

副会長 藤井利子  
時の流れが加速して感じられる今日この頃「若い足から来るんだナ」と言う公さんの言葉を受けて、「代替え筋力も強化した方がいいよね」と対策運動を話し合う夫婦。「ボンコツも又楽し」と生きる為には、これからやって来る新体験を受け止める為に、先ずは童心に返って、心と頭の柔軟と実験的試みで……と思っています。ダンスも運営もそんな気概でいいのかなア。今期も皆々様の御協力を有り難く感謝申し上げます。

### 副会長 由井カノコ

副会長をお受けして2年間、あっという間に過ぎてしまいました。新しい事務所も軌道にのり、役員会もフレッシュな感覚で出来るような気がしています。世の中は進化して、今年のコンクールからインターネットで申し込みとなり、ワープロまでは何とかでしたが、この機会にパソコンに挑戦できたらと思っています。

理事 大岩静江  
振り返れば独自でこれほどの活動をしてきた協会があったでしょうか。諸先輩の方々の地道な努力によって、しっかりとレールが敷かれ、又、創られ私も参加できたことを喜び感謝しています。若い方々の参加を期待しています。

### 理事 河上正子

理事 河上正子  
二年間、埼玉県舞踊協会の行事に御協力下さりありがとうございました。協会行事には非若い方もたくさん参加して下さり、若い方も多岐にわたる協会の、今年も頑張ろうと!!そして、正懸命生きて行きたいです。

理事 佐藤良寛  
色々の協会の事業を、どのように進めていくか、進行を見ているだけのあつという間の二年間だったと思います。事業に対しての考え方、想いを聞いて各先生方の情熱に感謝いたしました。

### 理事 高野尚美

理事 高野尚美  
二年間、色々の仕事を先生方より教えていただきながら勉強をさせていただきました。協会の先生方の協力と団結で私たちが支えられてきたのだなあと。感謝いたしております。二年間、本当にありがとうございました。

理事 中村友美  
協会事務所が開設されて理事が担当の部を受け持つことになりました。いかに受け持つ仕事を無事に進行していくか不安なスタートでしたが、少くも理事副会長他先生方のご指導で終えることが出来ました。

### 理事 新野正代

理事 新野正代  
協会の歴史中、殊に変わった年間でありますが、私的には理事として不意に活動不足で頼みの綱だった三年間です。理事を仰せ付けられた優先順位に、藤井会長初め理事の先生方の御支援のおかげで乗り切ることが出来ました。又、年に何度かお会いする会員の方々の笑顔も、永年に渡って繰り返され、今や連帯感を想わせてくださいます。

理事 矢野美登里  
二年間を振り返り、舞踊協会結成以来一番変化の時だと思います。藤井会長に変わって津田会長にそれぞれ係の担当者も新たに、私は「埼玉全国コンクール」に対し如何に藤井先生が大変だったかと実感した年でした。

### 理事 山本敦子

理事 山本敦子  
時の立つのは早いもの、いざ時間があっても足りません。この二年舞踊協会ニュース編集という仕事に明け暮れました。バエの仕事として趣味となる気がした仕事に出逢えた埼玉県舞踊協会のかかわりです。

ある時代が終わろう。ギリシア時代、平成時代かも知れませんが、壊れたものの修理と捨て去るゴミが競合し、あるいは、ジエンド。人心の荒廃を正すコストと人類を滅ぼすコストのどちらが楽か。神は思案中なのかな。

### 理事 若松美貴

理事 若松美貴

### 彩の国ダンス・セッション 2005



彩の国さいたま芸術劇場 大ホール  
2005年12月18日(日)  
撮影 木上 晃未 [Rebambaramba (Danza del Fuego)]

### 彩の国ダンス・セッション 2005を終えて

2005年12月18日15:00 埼玉県芸術文化振興財団と埼玉県舞踊協会共催の公演を開催する事が出来ました。作品を作った下さい、高野尚美さん、柄沢寿美さん、キューバからのナルシソ・メデイナさん、又コンクール上位入賞で御披露して下さいました。各研究所の先生方及生徒さん舞踊協会の先生方が丸となり協力の基

に年間のしめくくりの12月に盛大な会を創りあげる事が出来ました事に心より感謝して居ります。

ダンサーの方々の空いている時間も違い、各研究所の生徒さんをつまよめあげ振付けをされました。先生方には並ならぬ御苦労が有ったのではないかとお察し致します。

### 評 舞踊評論家 立木燐子

「カリブ海から日本へ、キューバの熱い風、ナルシソ・メデイナを迎えて」と題された公演が、昨年12月18日、彩の国さいたま芸術劇場大ホールで開催された。

### 評 舞踊評論家 立木燐子

「カラブ海から日本へ、キューバの熱い風、ナルシソ・メデイナを迎えて」と題された公演が、昨年12月18日、彩の国さいたま芸術劇場大ホールで開催された。

埼玉県がどの県よりも舞踊の栄えに富んだのは、クラシックの先生とモダン先生方がつととなり、協会の先生方の献身的かつボランティアのごとく活動が有ったからとそこに改めて協会の歴史を感じさせて頂きました。これからは県民から少し離れた芸術劇場ではなく、もっともと私達にとりまとも県民の皆様にとりましても身近な芸術劇場である様に、更なる御協力と御力添えを頂きたいと、御願い申し上げます。

私は組織に協力し働くのがどちらかというと苦手、要するに自分勝手な人間なのですが、埼玉県舞踊協会には最初こそ勝手が解らず薄いお付き合いが出来なかつたのですが、協会に育てて貰ったという感じが、まづ藤井公さんのお陰です。

一月の末から又コンクールの仕事が始まり、毎月色々な仕事をさせて戴くたびに、私たちの先輩方はこうやって道を造ってくださったのかと……仕事が大変になればなるほど感謝の気持ちも大きくなります、ありがとうございます。

「熱い」とにかく熱い。ワークショップに参加された方は皆「の」のような印象を受けたと思う。巧さ、理論以前の、ダンスを欲する体と魂が、彼のダンスの根底にはある。



撮影 木上 晃未 [妖精の庭]



撮影 木上 晃未 [雑草]

「雑草」は、この日のゲスト、ナルシソ・メデイナと舞踊団「Rebambaramba (Danza del Fuego)」が上演された。1997年の第9回埼玉国際創作舞踊コンクール大賞受賞者、緻密な構成・演出が光る舞台は、力量を感じさせる上、何よりも踊りのダイナミクスが圧倒的だ。舞台は

今回のワークショップでこの域まで行けなかつた事は反省の限りだが、ダンスセッションの出演者を変えた22名のダンサーは、ナルシソ・メデイナ氏と共に熱く踊りまくり、ダンスの情熱を再確認していた。

